

## 第7回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日 時：平成27年7月24日(金) 午後2時00分～午後4時00分

場 所：奈良経済倶楽部 5階 大会議室

出席者：委 員 長 吉田 博宣

副 委 員 長 山倉 拓夫

委 員 川瀬 浩、佐野 純子、田中 和博、前迫 ゆり

オブザーバー 春日大社、春日山原始林を未来へつなぐ会

事 務 局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室

関 係 部 局 《奈良県》景観・自然環境課、森林整備課、

森林技術センター、奈良公園事務所、

文化財保存課

《関係機関》奈良市景観課、奈良市文化財課

議題 (1) 春日山原始林のナラ枯れ対策について

(2) 春日山原始林保全計画について

### 議事要旨

(1) 春日山原始林のナラ枯れ対策について

- ・ 予防措置を含め、対策を積極的に行ったことを評価する。
- ・ ナラ枯れ対策の拡大を防止するため、今後も現状の取り組みを継続する。
- ・ ナラ枯れ被害による枯死木は、安全面を考慮し、ドライブウェイ沿い等に位置するものは伐倒くん蒸が、それ以外は経過観察する。

(2) 春日山原始林保全計画について

- ・ 文化財の修復という考え方から、ナラ枯れ被害により大径木が枯死した箇所などへ、照葉樹林の後継樹を補植することを検討する。
- ・ 補植する後継樹は、原始林内から採取した種子から育苗したものを利用することを前提とする。
- ・ ナンキンハゼは、原始林全域で駆除していく。
- ・ 実証実験の検証内容に、ナギの自然な遷移を確認することを追加する。
- ・ 実証実験箇所以外における亜高木層以下のナギの数量調整は、近年の御蓋山でのナギの種子散布量の減少や、ナギが有する歴史的特性等を踏まえ、そのやり方について検討する。
- ・ 春日山原始林の保全に必要な植生保護柵の設置面積についても、継続して検討する。